

# はまます いっぺかだれや つうしん



～石狩市浜益区地域おこし協力隊通信～

vol.62

※「いっぺかだれや」は「みんな集まれ！語ろう！」という意味の浜益の言葉です。

発行日：令和4年6月1日  
発行：石狩市浜益区地域おこし協力隊

## 隊員紹介



井上 優太

久々に髪を短くしたら、後ろ髪の襟足があった部分が真っ白でびっくりしました。早く真っ当な日焼けを手に入れたいです。

今月の〇〇

連載開始から追っていた「SPY×FAMILY」がアニメ化され、テンション高めです。

4/30(土)

## 果樹園で自然体験！ モニタープログラム



浜益や果樹園の魅力である豊かな自然を、浜益ファンに伝えたいと思い、「春の果樹園で自然体験」をテーマにして、春の果樹園でお花を見たり、付近を散策したりするモニタープログラムを実施しました。

当日は札幌近郊から7名が参加し、参加者からは「札幌では感じられない非日常を満喫できた。」「きれいな景色の写真を撮って楽しかった。」等の声がありました。

昨年度、自然学校や児童デイサービス事業所の子どもたちの受入に関わり、はじける笑顔を目の当たりにして浜益の魅力である豊かな自然を感じられるプログラムを作ることに価値を感じたので、今後の定期開催を目指して頑張りたいです。



当日は天候に恵まれました 梅の花が咲いていました 木を見ながら農作業について説明



4~5月

# 苗木の植え付け

～いつかは大木に～



手前：植えた苗木  
奥：昔からの木

今年は、さくらんぼ4本・りんご3本の計7本の苗木を植えました！植え付けは本数や品種により、将来の果樹経営に大きな影響を与える要素であり、木の成長にも時間がかかるため、重要な作業です。

植え付けはその作業一つ一つに体力と繊細さが求められる仕事です。土を掘っていたら大きな石が出てきて驚きましたが、無事にすべての木を植えました。

また、場所の選定では園内の木の生育や収量等、様々な要素を考慮して植えることの大切さを学びました。収穫できる日はまだまだ先ですが、楽しみです！



暑い日は水やりします。

## 今月の1コマ 浜益滞在の受入 ～昔の地図で浜益巡り～



雪解けとともに新年度に入り、滞在受入の機会も増えてきました。滞在拠点の看板製作や、区民おススメのスポット巡り等、日々様々な活動を受け入れています。

4月には、昔の地図や航空写真をもとに、ezorockメンバーと浜益散策をしました。「昔と今の浜益の変化を知れて面白かった」との声がありました。

「昔の地図や集落の様子が見られる写真を集めて、各集落を巡ってみたい」と感じました。

## 繁忙期に向けて



7月にはさくらんぼの収穫が始まります。販路拡大や収量の記録など、今後に向けて取り組んでみたいことがたくさんあります。一つずつ着実に積み重ねていきたいです。

### 編集後記

昔の地図で浜益を巡ったり、果樹園でお花を見ることを楽しんだり、山菜を少し調理したりと、1年半暮らしていても「浜益でできることの奥深さ」を感じた2か月でした。

こういう体験を一つ一つ記録し、興味がある人に繋げるような仕組みができればいいな。

地域おこし協力隊へのお問合せや情報提供はこちらまで！



地域おこし協力隊  
井上 優太  
090-1520-2048  
✉: yu1211.cw208@gmail.com



【はまます いっぺかだれや つうしん】は不定期発行です。次号は9月1日発行予定です。